



はあとりんく設立10周年記念連続講座第5回  
 「子ども学びをたいせつにみる～大学の教育臨床から～」  
 岡山大学学術研究院教育学領域准教授 丹治敬之先生より、  
 読み書きの支援に関する情報提供

1.読む

文部科学省音声教材

教科書のデータで、PCやタブレット端末を使って読み上げができるので、読みに困難がある子どもたちが、教科書の内容を耳で聞いて学ぶことができます。



2.書く

①ノートアプリの使い方

学びプラネットの平林ルミ先生が、Youtubeでノートアプリの使い方詳しく紹介されています。平林先生のブログやYoutubeは読み書きに困難のある子どもたちの代替手段としてのICT活用に関する情報が満載です。



GoodNotesの使い方



ノートアプリにプリントを取り込んで書き込む方法の紹介

平林ルミ先生のブログ  
 「平林ルミのテクノロジーノート」

②様々なノートアプリの紹介



GoodNotes5



MetaMoji



UPAD for iCloud



Nebo



OneNote



### ③手書き入力→デジタル化する

#### ①手書き入力→デジタル化できるノートアプリ

手書き入力は、タイプ打ちが苦手な場合や、手書きはできるのだけど、後で読みにくいなという場合には、さっと書けて便利です。

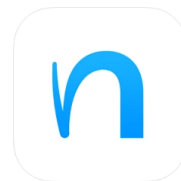
ノートアプリには、手書き→デジタル化に対応したものと、してないものがあります。



GoodNotes5



OneNote



Nebo



Nebo 使いたい

数式もデジタル化できます。  
「平林ルミのテクノロジーノート」に使い方動画があります。

#### ②手書き入力→デジタル化できるアプリ

手書き入力するとき、漢字の候補が出ると漢字が曖昧なときに助かるのだけれどという質問がありました。そんな時は、手書き入力のアプリが便利です。



Mazec



Mazec



手書きキーボード



手書きキーボード

はあとりんく主催のO-iPadでも紹介し、使い方を学んでいます。どうぞ気軽に問い合わせください。